

日本人と宗教の関係性について

この論文では日本人と宗教の関係性を明らかにすることを目的としている。

「はじめに」の部分では現在の日本における宗教の在り方を自分がどのように感じているかを述べている。

第 1 章では論文の中心である宗教について考えた。特定の宗教を取り扱うのではなく宗教を概念としてとらえ、どのようなものを宗教と呼んでいるのか自分の考えと文献を参考に述べた。自分なりの宗教とは「何かに対して祈るもの」と考えた。

第 2 章では日本の宗教行事を紹介した。日常生活の中に宗教があることを認識してもらうために割と親しみがあり人気がある行事、初詣やお盆、七夕などを紹介した。また日本だけではなく海外の宗教行事、例えばバレンタインやハロウィン、クリスマスなども併せて紹介した。

第 3 章第 1 節では日本人は本当に無宗教なのかということを疑問に上げた。

日本人が無宗教の理由として私なりの理由も述べた。

- ① 育った環境に理由がある。
- ② 宗教が楽しいイベントになっている。
- ③ 宗教を怖いものだと思っている。

などを理由として述べた。

第 3 章第 2 節では宗教の良い点と悪い点を述べた。

私の考えでは日本においては圧倒的に悪い影響が大きいと考えた。なぜなら宗教を理由に本来優先されるべき人権が蔑ろにされていることがあるからだ。そしてそれが私が考える宗教による悪い点である。

反対に良い影響も確かにあると私は考える。一つ目は信仰による救済である。自分が所属している宗教団体の神や教祖を信じることによって、実際に効果があるかはわからないが今つらくてもいつかは救われるという希望を持つことが出来る。

二つ目は同じ集団に所属することで孤独感を紛らわせたり、同じ悩みを共有することで苦しみを和らげられるのではないかということだ。そのため私は宗教を信仰するというよりは宗教集団に所属することのほうが良い影響を受けやすいのではないかと考える。

第 3 章第 3 節では政治と宗教について他国と比較しながら見ていった。日本は政教分離が定められており、日本では国家によって宗教団体が政治・経済的な特権を獲得したり、国

家が宗教的な伝統や価値観を反映したりすることを禁じている。ただ私は政治と宗教のつながりを完全に断つことは難しいと考えた。

第3章第4節では教育と宗教の関係性について考えていった。私が日本の宗教、又は宗教団体をいくつ答えられるか考えてみたときに5個ですらも答えられなかった。思い返してみると日本の宗教について詳しく学んだ記憶がなかった。そこで日本の宗教教育について疑問を持ったのである。

日本の宗教教育では特定の価値を教えるとはいけないとされているためあまり深く一つの宗教を扱うことが出来ないのである。また戦前に特定の価値を教えたことが、戦争推進へとつながってしまった過去があるため特定の価値を教えることに危惧や警戒心があり、客観的価値のみを教えることが強調されてきたのである。

私の考えとしてはもう少し宗教について教育の場で扱ってもいいと思った。もちろん客観性を重視しながら教えなければならないが、日本の宗教教育について広く浅く扱うことで自国の状況について知ることによって愛国心をさらに深めることが出来るかもしれないし、広く浅く学ぶことで良い面、悪い面が明らかになりやすくなり、宗教を身近に感じることで不安も和らげることが出来るのではないだろうかと考えた。

おわりにでは今まで書いてきたことを踏まえながら日本人と宗教の関係性について考察していった。

初めに挙げた日本人は宗教に関心がなさすぎる点について私は問題点だと捉えていたが論文を書き進めるにつれてよい面でもあると考えるようになった。宗教には少なからず悩みや不安を抱えて入信する人が少なくないと思うので、宗教に頼らずに生きていけることは良いことだとも感じた。

そして日本人と宗教の関係性について信仰対象を作り祈りをささげ救いを求めるというよりかは営利性が強いのではないかと考えるようになった。日本における宗教は企業が営利目的をもってイベントごとなどを展開していくことが多いと考えた。もちろんそれが悪いことだとは言わないが、もともと神様がかわかる行事だったりするものをお金目的のために使うことは良いこととは言いきれない。そのため私は日本における宗教の在り方は営利性が強いと感じた。日本人は良くも悪くも宗教への関心が薄いので、宗教の扱いが軽いように思えてしまう。私はここにまだまだ課題が残る感じた。

最後に私が考えた日本における宗教は「とても都合の良いもの」だった。前述したとおり日本は比較的治安もよく貧困者の割合も低いので宗教に頼らなくても大半の人は生きていける環境になっている。しかしだからこそ日本における宗教は信仰救済を目的としているわけではなくほかの目的に使う余地が出てきているのではないかと考えた。

宗教について調べていくとより詳しく知ることが出来る反面、謎が深まった点が多かったなのでこれからも考えていきたい。